



熊本地震災害

復興支援

行ってきました 1号

2016/7/1

発行

社会福祉法人順和会 特別養護老人ホーム陽ノ丘荘 へ当法人の介護福祉士を派遣しました

6月12日～6月18日にみなみ阿蘇福祉救援ボランティアネットワークさんを通して、南阿蘇村の特別養護老人ホームへ当法人の介護福祉士（デイサービスセンターハーモニーおくらやま所属スタッフ）を派遣しました。

派遣された、中村悦子さん（ハーモニーおくらやま介護福祉士）に話を聞きました。

チーム一丸となって取り組んでいる所を見せていただきました

「派遣先の施設周辺地域では、阿蘇大橋崩落の影響により、通勤距離、通勤時間が大きく変化し、スタッフの退職が相次いでいるようです。通っているスタッフの中には危険な道を、車で2時間かけて通っているスタッフもいます。」



そんな中でも、利用者の方々の命や生活を守るために、懸命にスタッフが一つ一つの三大介護を丁寧に実施されており、ハーモニーも見習うべきところが沢山ありました。そんな大変な中でも、口腔ケアを丁寧に行ってもらっているのに感動しました。厳しい環境にいるにも関わらず、スタッフたちは悲壮感漂わせているのかというと、そうではなく、いつも朗らかに仕事にあたり、すごい！

とにかく、派遣させていただいた施設はチーム一丸となっています。一度みんな、あの現場に行って感じてきてほしい。そして、また行きたいです。」



中村さんは今回の震災支援でたまたま、石原軍団の元気食堂と巡り会いました。

施設のスタッフだけでなく、町の人たちも朗らかに、現状と向き合いながら生活をされている話を聞くと、つくづく生活再建には時間がかかるのだと痛感しました。



『非常時にこそ、その真価が問われる』もし京都でこのような事が起きた時に私たちは、真価を発揮することができるのでしょうか。彼女の話聞いて、今一度、足元を見直したいと考えさせられました。
(文責 法人本部 上埜)